

1章 わたしたちの住んでいる神奈川県

かながわけん

1 自分の住んでいるところをさがそう

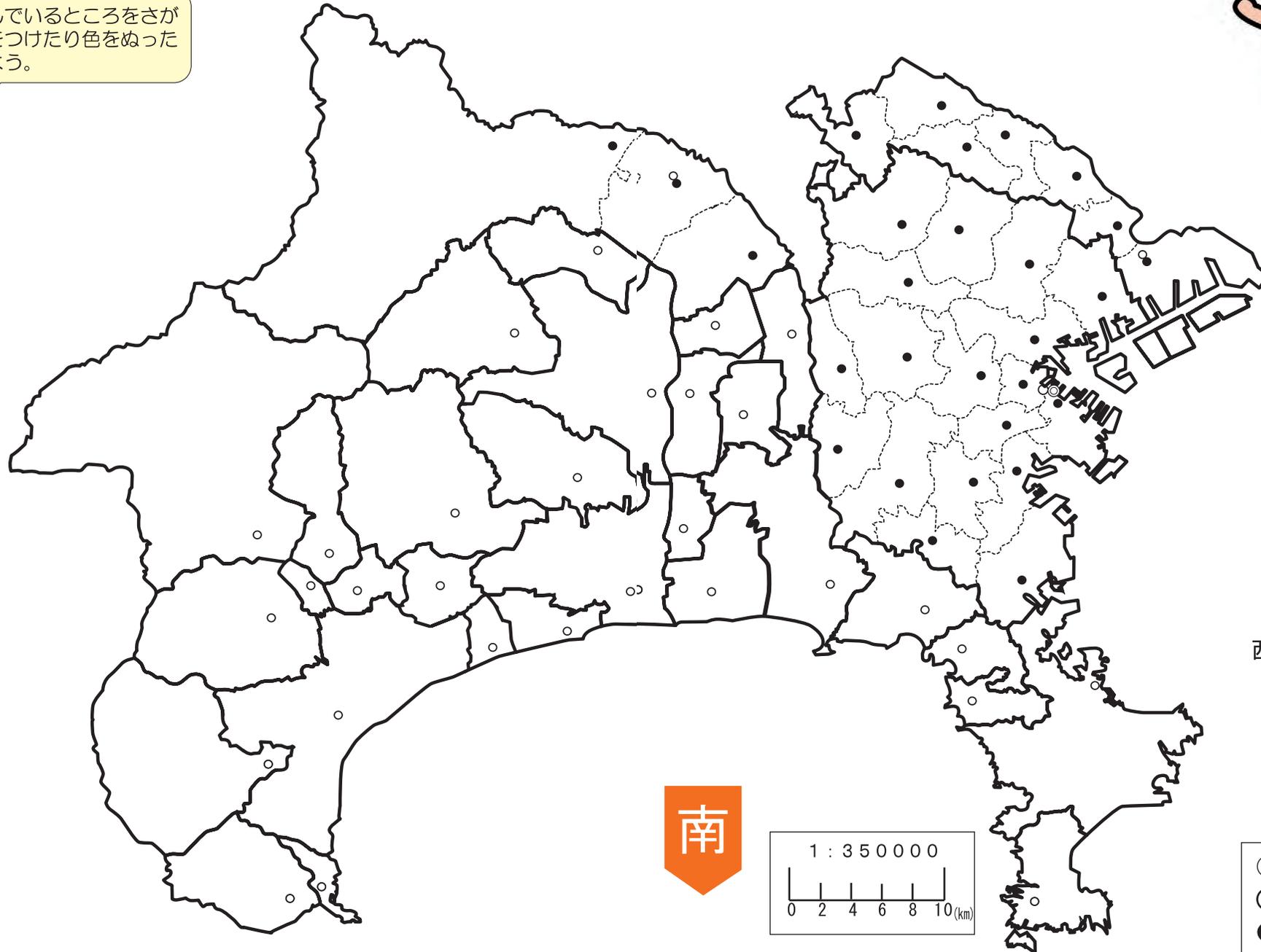


(1) 地図しるしに印をつけてみよう

自分が住んでいるところをさがして、印をつけたり色をぬったりしてみよう。



◎○●印はけんちょう県庁・市(区)役所・町村役場のあるところだよ。



◎印は、県庁
○印は、市役所・町村役場
●印は、区役所

(2) 神奈川県を見わたしてみよう

神奈川県を、それぞれの地域の人々の動きや地域の特色などをとくに、5つの地域に大きく分けました。

自分たちが住んでいるところの近くの写真をさがしてみましょう。



つくいこ 津久井湖



さがみかわ 相模川と高速道路



あしがら 足柄地域のお茶畑



おおわくだに 大涌谷

相模平野と相模川 (国土交通省京浜河川事務所提供)

北

とうきょうと 東京都



けいひんりんかいぶ こうきょうちたい 京浜臨海部の工業地帯

かわさき よこはま 川崎・横浜地域



横浜ベイブリッジと横浜港



海ぞいまで広がる田畑

みうらほんとう 三浦半島地域

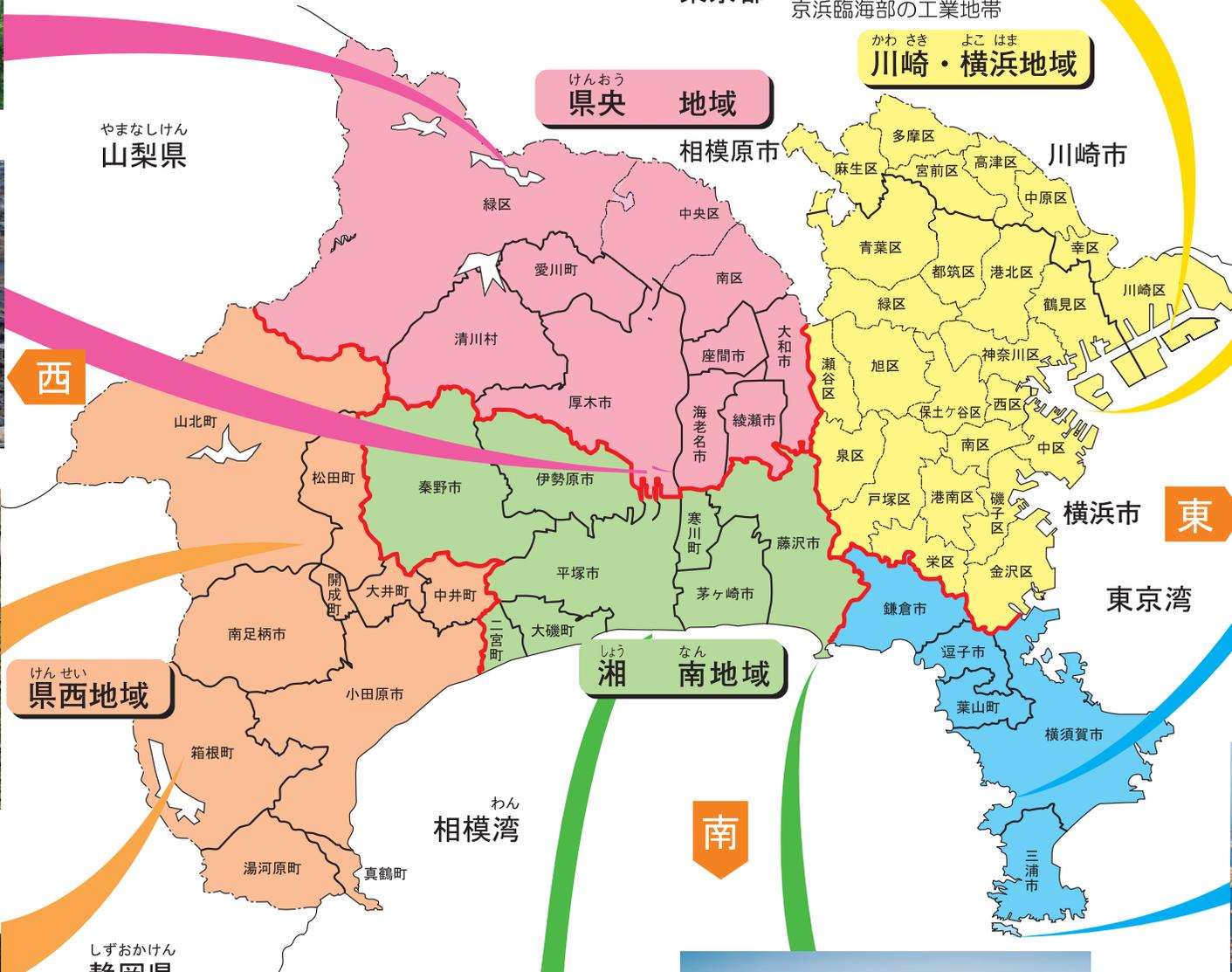


しょうがしま 城ヶ島と三浦半島

南



えのしま 江の島と湘南海岸



西

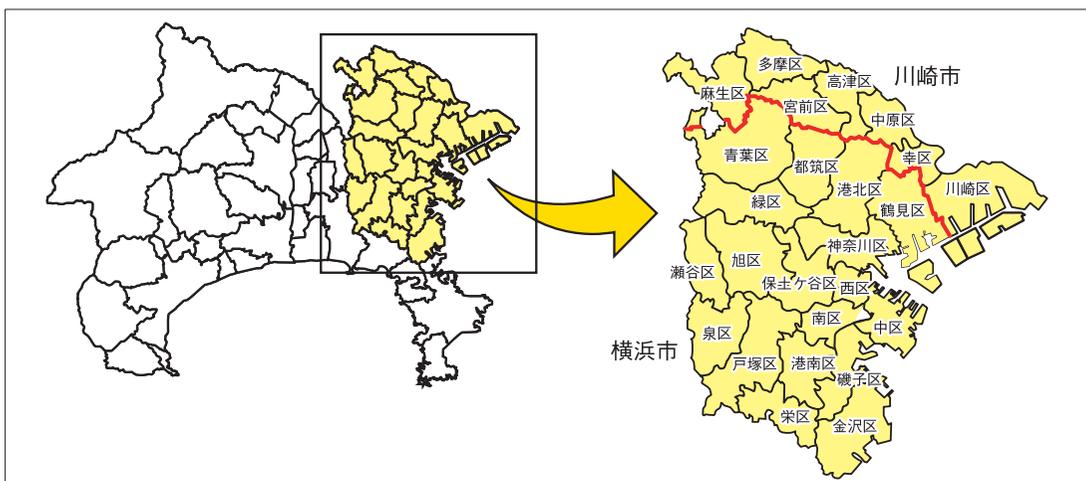
けんせい 県西地域

東

しょうなん 湘南地域

2 個性いろいろ33市町村

(1) 川崎・横浜地域



神奈川県にはさまざまな
特ちょうをもった市町村
があるよ。どんなところ
か調べてみよう！



川崎市



川崎市役所

令和6年、川崎市は誕生から100年をむかえました。

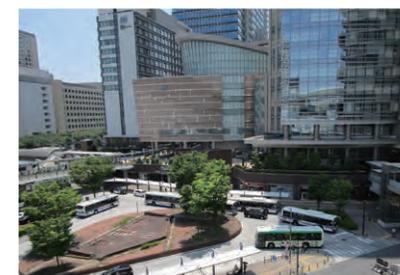
昔は、東海道の宿場町や川崎大師の門前町として栄えました。工業がさかんな都市として有名で、京浜工業地帯の中心として日本の高度経済成長をささえてきました。げんざいは最先端のぎじゅつ開発に取り組む会社や研究所が数多く集まり、研究開発都市へと変化しています。

横浜市

1859年の開港以来、日本の窓口として発展してきました。横浜には、新聞、ガス灯など日本で初めて使われたものがたくさんあります。

横浜ベイブリッジ、中華街などの観光スポットがあるほか、みなとみらい21地区は「国際都市よこはま」とよばれていて、ホテル・国際会議場・美術館などのしせつが建てられ、アジア太平洋経済協力（APEC）の首脳会議やアフリカ開発会議（TICAD）など、国際的な会議がたびたび行われています。

げんざいは、国から「SDGs未来都市」に選ばれ、環境、社会、経済のつながりを考えた発展をめざしています。



川崎駅西口ターミナル



みなとみらい21 横浜港

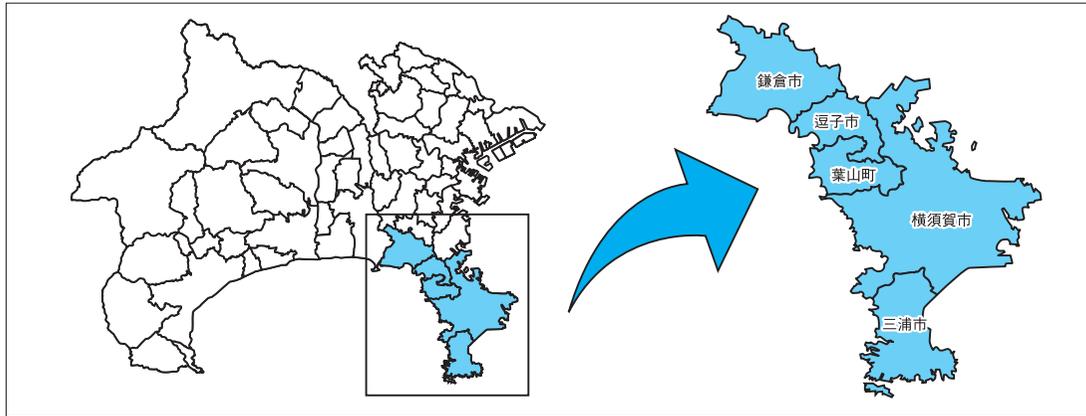
画像提供：横浜市観光協会



外交官の家

画像提供：横浜市観光協会

みうらはんとうちいき
(2) 三浦半島地域



よこすかし
横須賀市



上空からみたまちの
中心地と東京湾

三浦半島の中央にある、海に囲まれた、緑の多い自然ゆたかなところ（江戸時代にペリーが来航し、近代の幕開けの地となつてからは、海軍関係の工場がつくられ、ドック（船の修理をするしせつ）や砲台跡などの戦前の建造物が日本遺産に認定されました）。

今では、自動車などの機械工業をはじめとした工場や、情報通信産業などの研究しせつが多くあります。また、平成13年に中核市（人口20万人以上で国から指定された市）となつてからも住宅街や商業地として発展しています。

かまくらし
鎌倉市



こうとくいんだいぶつ
高德院大仏

（（公社）鎌倉市観光協会提供）

今から約830年前に、源頼朝が武士中心の政治を始めたところで、約140年の間、日本の政治の中心として栄えました。今でも、たくさんのお寺や歴史的に重要なしせつが残っています。

明治時代からは、海水浴場や別荘地、観光地として開け、国際的にもその名が知られるようになりました。

鎌倉彫は、全国に知られた伝統工芸です。

すしし
逗子市

明治時代の中ごろ、横須賀線が通るようになってから、別荘地として開けました。おだやかな気候と美しい自然にめぐまれ、静かな住宅地として知られています。

また、沿岸漁業（陸に近いところで行われる漁）の漁港があり、海水浴場としてもにぎわっています。



じんむじ
神武寺

みうらし
三浦市

東・西・南と三方を海に囲まれているので、漁業がさかんです。城ヶ島と向かいあう三崎漁港は、遠洋漁業（遠くの漁場で行われる漁）の基地として有名です。

三浦半島の丘陵地や台地は、だいこん、キャベツなどの生産地としても知られています。冬でもあたたかく、海の自然にめぐまれ観光客もたくさんおとずれます。



うおいちば
三崎漁港の魚市場

はやまぢ
葉山町

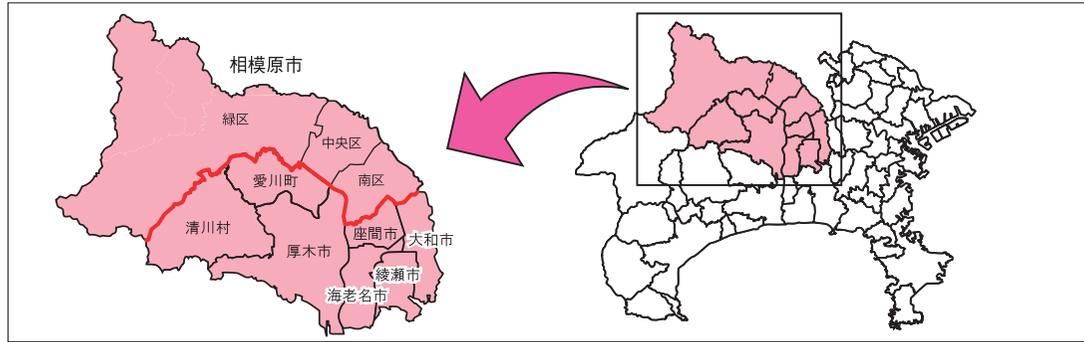
海と緑ゆたかな山々に囲まれた町です。明治時代になって御用邸など皇族の別荘ができてから、別荘や保養所、住宅がふえ、今では環境の良い住宅地となっています。

日本人がヨットを初めて使った町として知られ、マリンスポーツもさかんです。また、湘南国際村では国際交流や研修などのさまざまな活動が行われています。



もりと
森戸海水浴場

(3) 県央地域



さがみはらし 相模原市

平成18年3月に津久井町、相模湖町と、平成19年3月に城山町、藤野町と合併し、平成22年4月に県内で3つ目の政令指定都市となりました。昔は、養蚕がさかんでしたが、げんざいは、多くの工場が進出し、国内でも有数の内陸工業都市として発展してきました。

平成26年9月、リニア中央新幹線の駅が橋本駅の近くにつくられることが決まり、新しいまちづくりの期待が高まっています。「はやぶさ」で有名な宇宙航空研究開発機構（JAXA）の研究施設もあります。市の西側は、県内で一番高い蛭ヶ岳などの丹沢山地や陣馬山などの山々に囲まれ緑がゆたかです。相模湖、津久井湖、宮ヶ瀬湖、奥相模湖など多くの湖があり、大事な飲料水として使われています。



陣馬山の山頂



にぎわう市街地

やまとし 大和市

相模原台地にあり、南北に細長く、ほとんど平らな都市です。鉄道が東西南北に走り、交通の便が良いので、住宅や商店などがふえました。緑を残すためにも公園整備が進められています。



泉の森

あつぎし 厚木市

県の中央部にあり、丹沢の山々や相模川などゆたかな自然にめぐまれた都市です。古くから交通の中心地で、大山に向かう人の宿場町や物流の集まる場所として栄えました。東名高速道路、さがみ縦貫道路、新東名高速道路などが整備され、大企業の研究所や大学の研究機関などが多く進出しています。

また、鮎つりやハイキング、温泉、イチゴがりやナシがりなどさまざまな観光、鮎まつりや国際大道芸といったもよおしでもよく知られています。



鮎まつり

えびなし 海老名市

奈良時代には、相模の国の国分寺が建てられました。七重塔をもつ大きな建物であったことが明らかになっています。また、昔から米づくりや養蚕、畜産業がさかんでしたが、げんざいは花や野菜・果物の生産が中心です。鉄道や東名高速道路が開通し、交通の便が良いので、住宅や工場、倉庫がふえました。

3つの鉄道が通る海老名駅周辺には多くのショッピングセンターや高層マンションが立ち並び、市内外の人びとがおとずれ、にぎわっています。



いちごづくり

ざまし 座間市

相模平野の北の方にあり、昔は農業のさかんなところでした。小田急線、相模線などが通っているので、住宅がふえました。西部に相模川が流れ、米づくりが行われています。東部は、工場が多く、コンピュータなどの先進（ハイテク）産業もあります。

市の飲料水の約80パーセントが地下水でまかなわれ、地下水100パーセントのボトル缶「ざまみず」を作っています。夏はひまわりまつりが行われ、市外からもたくさんの方がおとずれています。



ひまわり畑

 あやせし
綾瀬市

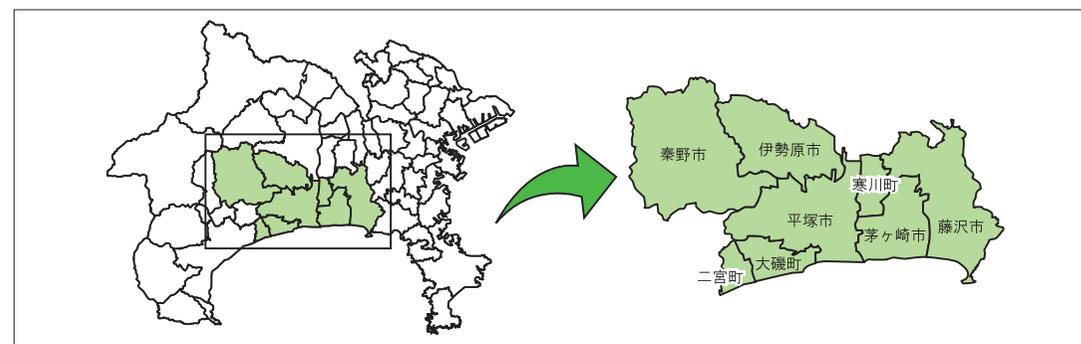
神奈川県かながわけんのほぼ中央なつかにあり、カワセミ、ホタルが見られるなど自然しぜんがゆたかです。

農業では、トウモロコシやブロッコリーなどのさいばいがさかんです。工業では、綾瀬工業団地など4つの工業団地があります。市内には、製造業せいぞうぎょうの中小企業ちゅうしょうきぎょうが380ぐらいあり、「ものづくりのまち」となっています。東名高速道路の綾瀬スマートインターチェンジとうめいこうそくどうろができ、毎日多くりようの人が利用しています。市の約6分の1が航空基地くわくきちとなっています。



めくじりがわ
目久尻川のカワセミ

しょうなん ち いき
(4) 湘南地域



 あいかわまち
愛川町

相模川さがみがわと中津川なかつかわにはさまれたひょうたん形の町です。江戸時代からの歴史をもつ半原はんばらの燃糸業ねんしぎょう（生糸をねじり合わせて糸をつくる産業）は全国的に有名です。

中津の旧飛行場跡につくられた内陸工業団地は、緑が多く、環境の良よいことが特ちょうの工業団地として知られています。

戦国時代には、北条氏ほつじょうしと武田氏たけだしの間で三増合戦みませがっせんが行われました。



三増合戦場跡

 ひらつかし
平塚市

昔は、東海道の宿場町しゆくばまちや相模川を利用した交通の中心地として栄えました。戦後、計画的なまちづくりが進められ、工業、商業が発展しました。農業もさかんで、米やきゅうりの生産量は県内トップクラスです。

また、湘南ひらつか七夕まつりは有名で、たくさんさの人がおとずれます。湘南平からは相模湾をはじめ、富士山や丹沢山地、箱根の山々まで見わたすことができます。



湘南平

 きよかわむら
清川村

神奈川県の中で、唯一の村です。おむすび形をした村の大半は山林であり、自然の動植物の宝庫たからになっています。

また、水量の調節、水道用水のかくほなどのため、多目的ダムとして完成した宮ヶ瀬ダムは、首都圏で最も大きい水がめで、東京ドームの約100倍の大きさです。ダムの周辺では、マラソン大会やクリスマスのイルミネーションなど、さまざまなイベントが行われ、毎年、たくさんおとずの人がおとずれます。



みやがせこ
宮ヶ瀬湖
(清川村, 相模原市, 愛川町)

 ふじさわし
藤沢市

昔は、遊行寺の門前町もんぜんまちや、東海道の宿場町として栄えました。今では東海道線、小田急線などが走り、住宅、ショッピングセンター、工場などが多くあります。北部の農家では、野菜づくりや畜産などが行われており、果樹園も見られます。

江の島は観光地として有名で、特に海水浴には多くおとずの人がおとずれます。



湘南海岸と江の島

ちがさきし
茅ヶ崎市



えほしいわ
烏帽子岩

人気のサザンビーチは、夏の海水浴や花火大会には多くの人でにぎわいます。

約180年続いているお祭り「浜降祭」など、たくさんの海にまつわる行事があります。

海ぞいでは、ダムの上流からすなを運び入れ、すなはまのしん食（海の水の力で地面がけずられること）を防ぐための取組に努めています。

また、東海道線にそって、工場や住宅が建てられています。市の北部には、自然を生かした県立茅ヶ崎里山公園があります。

さむかわまち
寒川町

相模川の河口から上流約6kmにあり、南北に長く、おおむね平らな地形です。町の東部は相模野台地の南西部にあり、そのほかは相模川の流れによってできた低地（川が土やすなを運び平野になったもの）となっています。古くは米、大麦、小麦などの農業がさかんでしたが、最近では、スイートピーや野菜を中心とした温室での農業や、ナシなどのさいばいがさかんです。

寒川神社は、相模国一之宮として、全国から多くの参拝客がおとずれます。



スイートピーづくり

はだのし
秦野市



カーネーションづくり

市の中心は丹沢山地を背にした盆地（周りを山で囲まれた低い土地）の中にあります。昔はたばこづくりがさかんでしたが、げんざいは、カーネーション、バラなどの花づくりや落花生、お茶のさいばいが行われています。高速道路のインターチェンジや4つの小田急線の駅があり、交通が便利なことから住宅がふえ、工業、商業もさかんです。自然にもめぐまれ、国定公園である丹沢山地への登山客のげんかん口となっています。

おおいそまち
大磯町

町は海ぞいに広がり、静かな住宅地となっています。町の北部には大磯丘陵が広がり、たくさんの横穴墓があります。平安時代の末には国府が置かれ、江戸時代には宿場町として栄えました。また、明治時代には、海水浴場が開かれ別荘地として栄えました。海岸で行われる火祭りの「大磯の左義長」は国指定の無形民俗文化財になっています。



大磯の左義長

このみやまち
二宮町

温だんな気候で長じゅ（長生き）の里として知られています。昔は、東海道の相模と小田原の「間の宿」として栄え、げんざいは小田原厚木道路と西湘バイパスのインターチェンジやJR二宮駅などの交通環境にもめぐまれた住み良いコンパクトな町です。吾妻山公園からは相模湾をはじめ、丹沢、箱根、伊豆、富士山などが一望でき、海と山のゆたかな自然を感じることができます。



吾妻山公園

いせはらし
伊勢原市

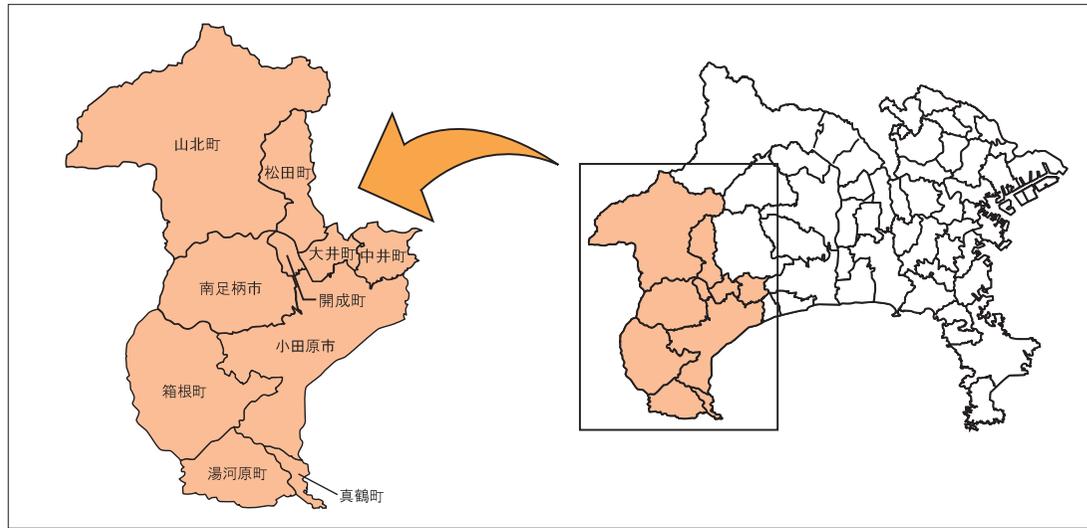


ブドウづくり

神奈川県のほぼ中央に位置し、古くからの信仰の山「大山」を最高点に、その南東に自然ゆたかな土地が広がります。2万8千年前には人が住んでいたことがわかっており、文化財も多く残っています。昔から農業がさかんでナシやブドウなどの果物がさいばいされています。

市の東西を走る大きな道路ぞいに工場や住宅が集まっています。

けんせいちいき
(5) 県西地域



おだわらし
小田原市



小田原城天守閣

昔は、城下町や東海道の宿場町として栄えました。今では、東海道線、新幹線、小田急線などの鉄道や大きな道路が通り、交通の便が良いので、商業、工業、観光がさかんです。県西地域の中心都市として発展しています。

小田原の名産としては、かまぼこ、ひもの、和菓子、梅ぼしのほかに、小田原漆器、寄木細工、木象嵌などの木製品、鋳物、小田原ちょうちんがあります。川東地区（鴨宮駅周辺）には、ショッピングセンターなどがあり、買い物客でにぎわっています。

みなみあしがらし
南足柄市

神奈川県西部にあり、森林がゆたかです。歴史が古く、約1200年前に足柄古道が整備され、金太郎伝説や大雄山最乗寺の天狗伝説などが伝わります。また、ゆたかな地下水を利用し、昭和の初めにフィルム工場が建設されました。さらに、令和の初めには南足柄市と箱根町を結ぶ「はこね金太郎ライン」が開通し、「道の駅足柄・金太郎のふるさと」の営業が開始されました。

丘陵地では、みかん、キウイフルーツ、お茶づくりなどがさかんです。



金太郎の像

なかいまち
中井町

大磯丘陵の北西部に位置し、北は丹沢山地、西には富士山を望めます。南には相模湾が広がり、温暖な気候を利用してみかんやオリーブなどの作物がつけられています。震生湖や厳島湿性公園では自然が楽しめ、中井中央公園ではスポーツができるしせつもじゅう実しています。また、東名高速道路のインターチェンジがあり、近くの工業団地には、最先端のぎじゅつ開発にふれることができる研究しせつや企業があります。



中井中央公園「ハートの丘」から見る富士山

おおいまち
大井町

西部には足柄平野が広がり、稲作を中心にさまざまな野菜や果物がつくられています。東部の丘陵地でも農業がさかんで、フェイスジョアといった特産品のさいばいもされています。

また、県と町と企業が協力し「未病」（健康と病気の間の状態）がテーマのしせつ「BIOTOPIA（ビオトピア）」もでき、多くの方が利用しています。東名高速道路のインターチェンジから続く国道には、大型スーパーなどが並び、町内最大の公園「大井中央公園」や新たな住宅地も整備され、発展を続けています。



大井中央公園

まつだまち
松田町



西平畑公園

とうめいこうそくどうろ ごてん ば せん
東名高速道路のインターチェンジ、御殿場線
お だきゅう あしがらかみくん
や小田急線の駅、県立病院があり、足柄上郡の
交通と医りょうの中心地となっています。

また、松田山の観光みかん園やしひらばだけこうえん
また、松田山の観光みかん園や西平畑公園、
やどりきち く なかつ がわ にしひらばだけこうえん
寄地区を流れる中津川や寄ロウバイまつりは多く
の観光客でにぎわっています。

はこねまち
箱根町

やく いじょう
約40年以上におよび箱根火山の活動によ
り、あしのこ ゆうだい けいかん つく ほうふ
り、芦ノ湖などの雄大な景観を造り出し、豊富
なわき水をたくわえ、おんせん
なわき水をたくわえ、温泉をもたらししました。
古くから街道が通ったことで、かいどう もとはこね せきぶつくん
古くから街道が通ったことで、元箱根石仏群や
せきしょ はこねきゅうかいどう れきしてき いさん
関所、箱根旧街道など歴史的な遺産もたくさん
あり、多くの観光客がおとずれます。また、ゆた
かな温泉があることでも知られ、でんとうてきこうげいひん
伝統的工芸品
の寄木細工も有名です。



芦ノ湖と富士山

やまきたまち
山北町



丹沢湖と富士山

県の北西部に位置し、いち さんち
足柄茶の産地として
お茶のさいばいやせいざん
お茶のさいばいや生産がさかんです。町の北
部はたんざわおおやまこくていこうえん
部は丹沢大山国定公園に指定されています。
春にはしゅうへん さくら
春には山北駅周辺での桜まつり、夏はたんざわこ
でのカヌー・SUPマラソン、秋には紅葉の丹
沢湖マラソン大会など一年を通して楽しむこ
とができます。

まなづるまち
真鶴町

箱根火山の南東にあり、さ がみわん
箱根火山の南東にあり、相模湾に真鶴半島
がつき出た形になっています。ぎょぎょう せきざいぎょう
漁業や石材業が
さかんで、北部でとれるほんこまついし
さかんで、北部でとれる本小松石は全国的にも
有名です。真鶴半島は県立自然公園に指定され
ており、くにしていじゅうようむ けいみんぞくぶん かざい きぶね
国指定重要無形民俗文化財である貴船
まつりは多くの人でにぎわいます。みなものよりとち
まつりは多くの人でにぎわいます。源頼朝が
あわのくに ちばけん
安房国（今の千葉県）に向けて船出をした地と
しても知られています。



真鶴港

かいせいまち
開成町



あじさいの里

足柄平野の中心にあり、町の花であるあじさい
いや水田に囲まれた風景が広がっています。県
内でめんせき
内で面積が一番小さい町ですが、じゅうたくせいび
住宅整備が進
み人口がふえつづ しょうはってん りょう
み人口がふえつづ、商業も発展しています。良
質な水を利用した大小さまざまな工場があり、
とくさんひん かいせいやいちいちも
特産品の開成弥一芋やはるみ（米）の生産にも
力を入れています。初夏に行われる開成町あじ
さいまつりや秋の開成町あわ
さいまつりや秋の開成町阿波おどりには、県内
外からたくさんの方がおとずれます。

ゆがわらまち
湯河原町

かながわけん もっと
神奈川県のもっと南西にある町です。海・山・
川・温泉という自然環境にめぐまれ、海を望
む丘の上では、みかんづくりがさかんです。
ゆがわらばいりん さと
湯河原梅林、さつきの郷、あじさいの郷、も
みじの郷があり、一年中、観光客がおとずれ
ます。

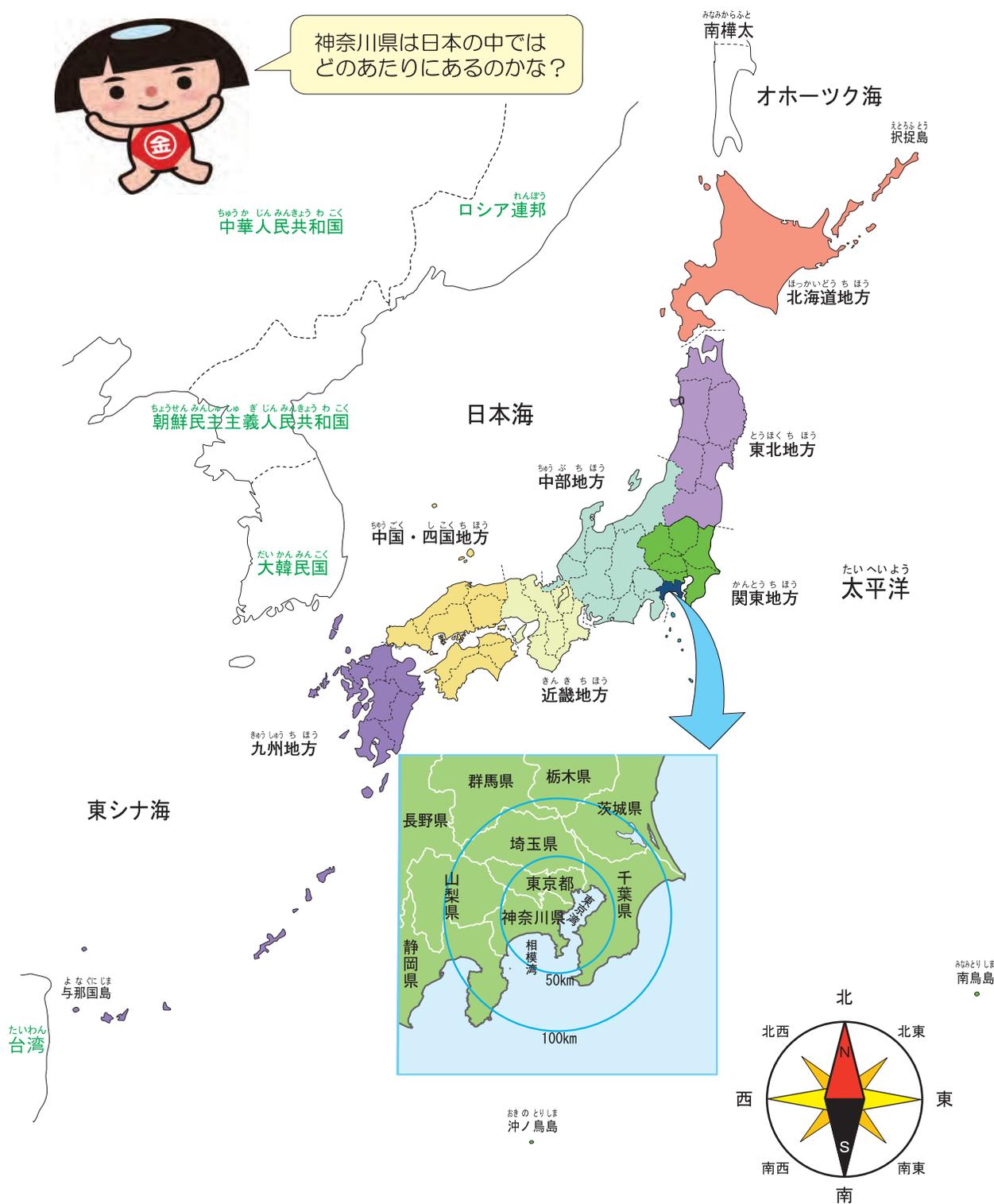


湯河原梅林

3 かながわけん 日本の中の神奈川県



神奈川県は日本の中ではどのあたりにあるのかな？



神奈川県は、日本のほぼ中ほどにあり、関東地方の南西部に位置しています。県の北には東京都があり、西どなりには山梨県と静岡県があります。そして、東は東京湾、南は相模湾に面しています。

5 神奈川県の大きさは、東西約78km、南北約60kmで、面積は2,416.54km²と全国で5番目に小さい県です。一番大きい北海道は、東西約500km、南北約420km、面積は83,422.27km²ですから、神奈川県の面積は約35分の1になります〔2025年（令和7年）〕。

10 日本の首都である東京ととなりあっていて、人々は仕事や暮らしの上で東京と深いつながりをもっています。

